



Kanagawa
net 神奈川ネットワーク運動・鎌倉
まちづくりレポートミニ版 133号

三宅 まり

発行/2014年5月27日

発行責任:三宅真里

〒247-0056

鎌倉市大船 3-3-15

TEL/FAX 0467-42-8636

鎌倉市議会議員

観光厚生常任委員長

カンパとボランティアで活動/ 問題解決はミニフォーラムで/毎月第2土曜は市政サロン開催

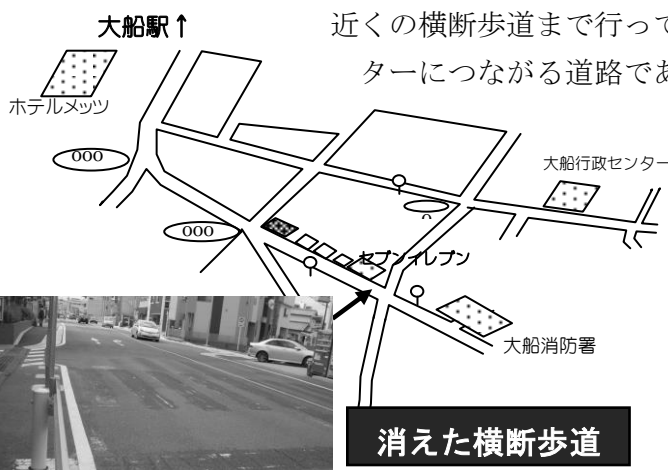
大船立体暫定開通後も、消えた横断歩道を渡る人々

大船立体は1期工事が終了し、今年3月28日から暫定開通しました。5月から旧橋の撤去作業が始まっています。10月の撤去終了後、立体北側の歩道の整備に入り、平成28年度上半期には通れるようになります。その半年後の平成29年3月には、鎌倉武道館前につながる車道が開通予定です。最後は南側にスロープの歩道を整備して、工事完了は平成30年3月の予定です。

道路整備に伴い、日常生活上の不備も出てきました。小袋谷1丁目から大船3丁目のセブンイレブンにかけての横断歩道がなくなってしまいました。県道ではありますが鎌倉市職員にヒアリングしたところ「住民にはすでに説明している」「横断歩道があると渋滞した場合にかえって危ない」「新しくできた

近くの横断歩道まで行って渡ってもらう」などの反応でした。ここは、行政センターにつながる道路であり、小袋谷、台、山崎方面の人たちが生活道路として

日常的に利用しています。今も薄く残っている横断歩道を、親子連れ、高齢者、サラリーマン、自転車、多くの住民が渡っています。バス停もあり、ポストもあり、そばには消防署もあります。横断歩道を残し、とにかく車を徐行させるべきと考えます。大船警察署長にも現状を伝えました。安全性を再検討し、再度住民への十分な説明が求められます。



消防本部大船に移転 一方市民活動の場が消失

由比ガ浜にある消防本部は津波の危険が予測されるため、本部機能を大船消防署3階に移すことになりました。今年7月から来年1月にかけて改修工事が行われ、来年4月には本格使用が開始されます。

一方で課題が残りました。大船消防署の3階講堂は、大船地域の自治町内会や民生委員さんたちの大会、市民の学習会の会場としても利用拡大させていただいてきました。レイウエル鎌倉が耐震性が低いため利用中止・解体が決まったこともあり、市民が集まれる拠点がまた消えてしまいます。

大船消防署の裏に、元大船第2子ども会館・子どもの家がありましたが、建物が傾いていたため、小坂小学校向いに移転し、この土地と建物は空いています。3月の議会予算委員会で今後の用途を聞いたところ、今年度は土地の鑑定を行い、売却予定とのことでした。手放したら二度と手に入りません。

他にも、レイウエルや玉縄地域の寄付物件など売却予定の土地がありますが、市の財産を次々に手放すことで一時的に収入確保を図るより、市民が地域で元気に活動する場を確保することの方が大切です。行財政改革を標榜する市長のもと、市民が窮屈な思いをすることになるのは好ましくありません。市役所の都合ではなく、市民の活動に配慮した市政運営を進めるべきです。